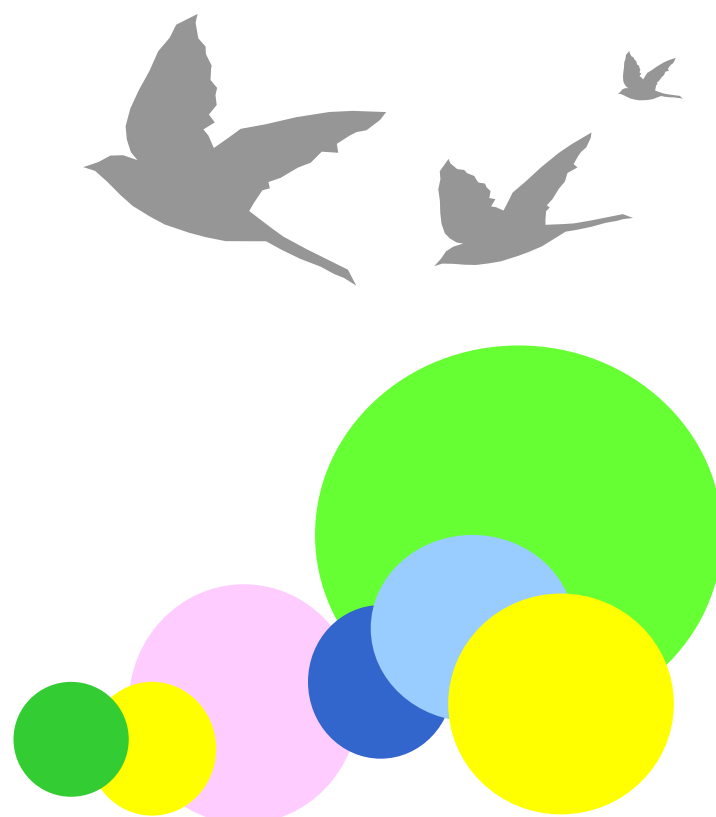


Membership Info.

ご案内

一般社団法人 保険者機能を推進する会

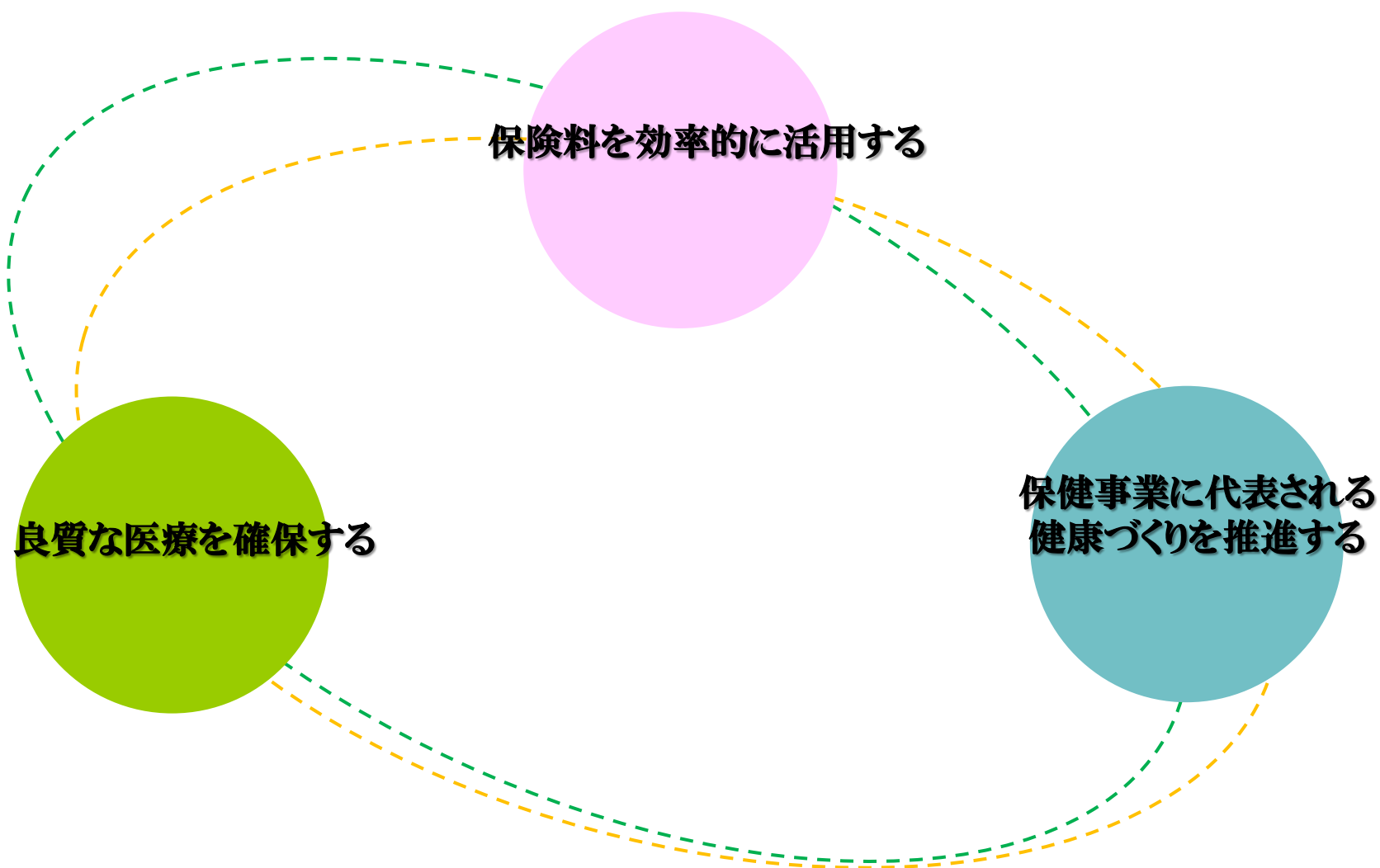




Purpose

目的

「保険者機能の原点」を追求します！



「保険者機能の原点」とは、被保険者・被扶養者のために上記三点に努めることであり、この実施・実現が保険者の使命です。
本会は、保険者自身が集い、参画し、この保険者の使命の実施・実現のため、保険者機能の研究とその具体的方策の実行を目的とします。

この考えにご賛同していただける健康保険組合様のご加入をお待ちしています。ぜひ、一緒に活動しませんか！

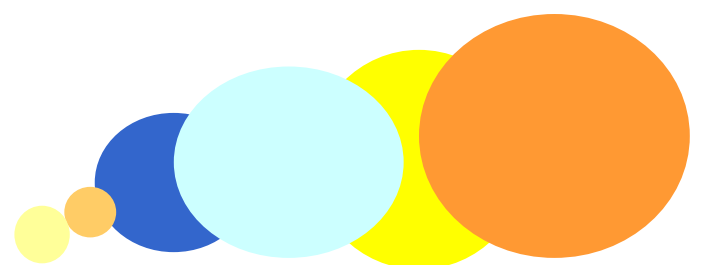
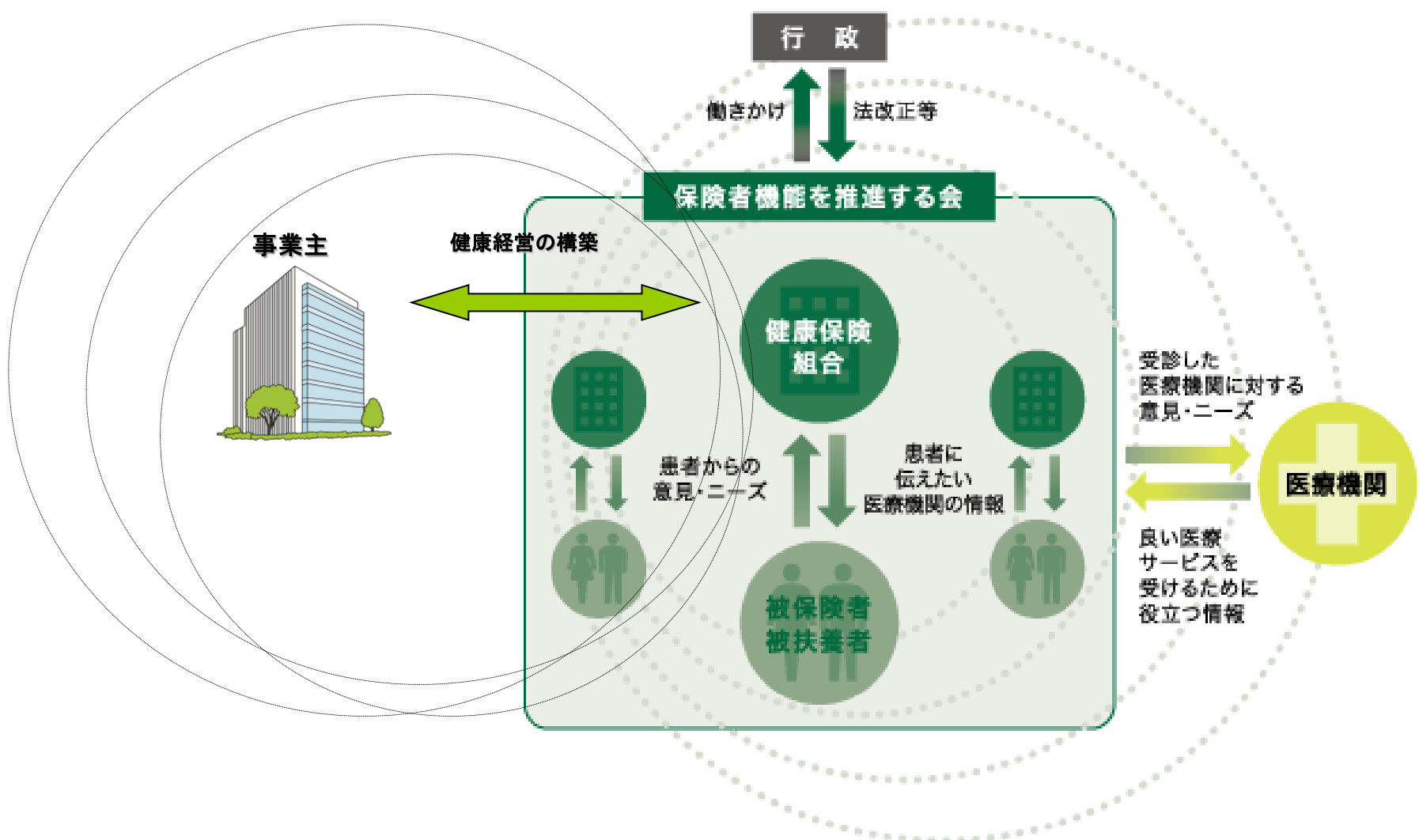


活動概要

- ◎健保の効果的な運営に向け、健康保険・保健事業などの情報共有
- ◎健保を取り巻くさまざまな課題に対しての研究・議論
- ◎関係機関への提案・提言
- ◎会員健保の幹部職員・一般職員の人財育成

少子高齢化社会の進行に伴う「医療保険改革」といった社会的課題に対し、政府をはじめ、経済界、労働界、研究機関、学識経験者などからさまざまな提案、提言がなされており、その多くが「保険者機能の強化」を強く求めています。

「保険者機能を推進する会」は、健康保険制度・健康保険組合を少しでも良くしたいという思いを持つ健康保険組合が「主体的に参画」し、保険者機能の強化に向け活動を行っています。





研究会活動

健康保険を取り巻く様々な課題のうち、自健保だけでは解決が難しいもの、協働することでより効果が見込めるものなどを持ち寄り、知恵を出し合って何らかの成果物を生み出す研究会活動を行っています。運営は自主性を重んじ参加者の中でリーダーを選出し、当該年度の目標成果物、活動方針を定めて、ほぼ1カ月に1回の頻度で集まっています。必要に応じて有識者や行政、健保連の担当者にもヒアリングを行い、情報レベルを高めています。2022年度の研究会テーマは以下のとおりです。

2022年度研究会テーマーおよび参加条件一覧

【レセプト・健診データ分析研究会】

テーマ：特定健診結果データの多年度分析の中で各種リスクと生活習慣（問診情報）や実施保健事業等との比較評価を通じて関連を明らかにする

参加条件：運営へのサポートや積極的な参加
全体テーマの自健保の分析基礎データ（特定健診結果）を作成可能であること

【健診事業のあり方研究会】

テーマ：がん検診の受診案内から要精密検査対象者の把握、そして二次健診受診勧奨とその結果の把握まで、がん健診事業の一連の流れについて基本的なポイントを整理することに取り組む

参加条件：運営へのサポートや積極的な参加

【特定保健指導応用研究会】

テーマ：コロナ禍における、他健保との情報共有・収集・相談が出来る場の提供
各健保（特に、後期高齢者支援金減算対象健保）が実施している特定保健指導の具体的な情報共有
健保連・業者・外部団体等の外部業者を招いてのプログラム・アプローチ法などの情報収集

参加条件：運営委員を引き受けるレベルの参画意欲
自社健保の情報の発信者となる
WEB会議内での活発な発言（Teamsでの参加が可能なIT環境）

入会を検討される健保様には、研究会を見学していただくこともできます。

【女性の健康研究会】

テーマ：過去からの研究成果を共有・有効活用しつつ、女性の健康という幅広いテーマの中から今後の研究会の活動の方向性および具体的テーマを検討し、優先順位をつけて取り組む予定。また女性の健康に関して”語れる人材”の育成を目指す

参加条件：研究会への参画を通じて、実現したい目的・目標のある方
自身が研究会の運営を担う意気込みのある方

【シニアの健康研究会】

テーマ：昨年より実施のシニア向け情報誌『健康かわら版』の共同作成事業、並びに「健診未受診者への生活問診アンケート実施と結果のフィードバック」トライアル事業の継続。またシニアに関する最新の医療情報の共有、レセ解析による当該世代の疾病の偏りを踏まえた対策の検討、更には自治体担当者を招いた勉強会の開催など、参加者の声を活かしたシニアの健康増進策を検討、実施を行う

参加条件：立場を超えたフラットな関係性でモノを語ることでできる極めてアットホームかつ多様性に富んだ研究会です。
参加のハードルの低さでは定評がありますが、ちょっとだけ運営のお手伝いをお願いするかも知れませんので、何卒ご承知おきください。

【たばこ対策研究会】

テーマ：1. 成果物の更新・共有・活用推進
①たばこ対策コンテンツ集の更新 ②各種成果物の共有（整備）及び活用推進
2. 各社（健保）施策のステップアップ
①対策事例共有 ②現状を踏まえた対策検討（グループ討議、全体討議）
3. 社会貢献
①日本禁煙科学会学術総会への参画 ②サービス提供企業および地域などとの連携

参加条件：1. Microsoft Teams活用可能な方
2. 年度を通して参加可能な方
3. 楽しみながら活動できる（したい）方、自分を変えたいと思っている方など

【療養費適正化研究会】

テーマ：柔整とは何ぞや。治療用装具とは何ぞや・・・
まずはその理解と問題点抽出。その上で療養費の適正化の成功事例の抽出を行い、横展開し、かつ、現行の問題点に対する意見提言を行う

参加条件：単に他健保の情報を聞くだけでなく、自健保の事例や悩みごとを積極的に発表し、療養費の適正化に向けて改善意欲がある方

【扶養認定基準研究会】

テーマ：通知、事務連絡の改正（夫婦共同扶養通知など）、オンライン資格確認、中間サーバーなど健保組合を取り巻く環境の変化について理解を深める
また健保連との意見交換や提案、課題の共有など連携を取りながら進めていく

参加条件：自健保の取り組みを理解している方
運営へのサポートや積極的な参加

入会を検討される健保様には、研究会を見学していただくこともできます。



Communication/Symposium・Lecture・Study/

シンポジウム・講演会・研修会事業

1. 常務理事ゼミナール

常務理事ゼミナールは、「常務理事の皆さまが、自健保内で展開する各種事業における、“常務理事としての振る舞い”について、これまで以上に、より実践的な意見交換の場になるよう」という主旨で開催され、「コラボヘルスの実践」「データヘルスの実践」「保険者マネジメント」といったテーマを中心に、それぞれ具体的な取り組みについてグループ討議主体の意見交換等を行ってきました。

新任の常務理事の方も多数参加され、毎回活発な情報共有や意見交換が行われていますので、常務理事であればどなたでも気兼ねなくご参加いただけます。参加者の皆さまからも「同じ常務理事の立場での対応や具体的な進め方の情報・意見交換は参考になる！」という声も多く頂いています。気軽に話しあうことで何か課題解決につながるヒントが得られるかもしれません。

当ゼミナールは常務理事同士の意見交換が主体であり、これを機会に培ったネットワークが、日々の業務の課題解決の役に立ち、活動の充実にもつながっていくことと思います。ぜひ、多くの常務理事のみなさまの積極的なご参加をお待ちしております。



2. 医療保険制度ゼミナール

医療保険制度ゼミナールは2022年度で8年目を迎えた活動です。

当会の基本機能である「保険者機能を推進する」を軸に、保険者をとりまくステークホルダー（政治・厚労省・財務省、アカデミア・医療提供側・患者団体・メディア等）に講義をお願いし、それを通じバランス感覚を持って将来に提言ができる保険者を育てることを目指しています。ゼミの受講対象者は、健保マネジメント層（理事長・常務理事・事務長・役職者等）を中心としています。保険者機能の発揮に疑問や課題を感じている方々の参加も歓迎しています。

開講にあたっては演者の資料の事前読み込みを行って、予め課題意識をもち各人が疑問をもって参加することを前提としています。また一方通行の講義でなく、質疑・ディスカッションの時間を十分にとって多面的な見方を実感できるよう工夫をしています。

2021年度は新型コロナの流行により、感染防止の観点からWebを通じた間接的なゼミ活動に転換を余儀なくされましたが、
・「健保連 “次なる一手”～改革工程表への道のり～」(保険者)
・「政治から見た医療保険制度～医療保険の課題～」(政治)
・「保険者機能を強化するラーニングヘルスシステム」(アカデミア)
の3回のゼミナール活動を行いました。

2022年度もコロナ禍により開催方式に不透明な部分がありますが、Web方式も定着したことから、本ゼミの意図を踏襲しつつ、2021年度と同様の活動を推進していく計画としています。



3. 基礎知識研修会

基礎知識研修会では、主に一般職員の方を対象として、時節柄関心の高いテーマをその都度取り上げ開催しております。

またWEB形式での開催もできるようにし、遠方からの参加も容易になり、より情報収集しやすい環境が整いました。

2020年度はポピュレーションアプローチ研究会の成果発表として事例発表を中心に開催いたしました。

通年は年間に3～4回の開催を目標により身近な、よりご自身の業務に生かせる内容で、事例発表、各研究会の成果発表および専門家によるレクチャーなどを中心に開催していきます。





第10回 保険者機能推進全国大会

本格化する少子高齢化社会において
果たすべき保険者機能とは？

開催日：2022年11月24日（木）

第9回全国大会(2021年11月24日)の概要

「保険者機能の変革を支えるインフラの進化」

「保険者機能の変革を支えるインフラの進化」をテーマに掲げ、
第9回保険者機能推進全国大会を、2021年11月24日にWebにて開催しました。

基調講演として、
東京大学未来ビジョン研究センター データヘルス研究ユニット 特任教授
自治医科大学 客員教授 古井祐司先生より
「データヘルスは保険者機能を変革するプラットフォーム」という演題にて
ご講演をいただきました

また、後半では、
・特定保健指導応用研究会の成果発表
・たばこ対策研究会、療養費適正化研究会から外部団体への発表内容のご紹介
を行いました。

ご案内

會 費

被保険者数	正会員 年会費
5千人未満	11万円
5千人以上1万人未満	13万円
1万人以上2万人未満	15万円
2万人以上5万人未満	17万円
5万人以上	19万円

※年度（４月から翌年３月）途中の入会の場合は、会費は月割計算（千円未満切捨）した金額になります。
※健康保険組合の都道府県連合会およびその下部組織、ならびに健康保険組合以外の保険者および団体等については、準会員として入会することができます。準会員の会費は被保険者数により３万円～１１万円、被保険者０人は１１万円です。

アクセス



會員一覽

IHIグループ、アクサ生命、アクセンチュア、味の素、azbil
 グループ、アフラック、イオン、石塚硝子、エーザイ、
 SMBC日興証券グループ、SGホールディングスグループ、
 FR、FWD生命保険、MSD、オートバックス、小田急グルー
 プ、オリンパス、花王、カシオ、協和キリン、キリンビール、
 近畿日本ツーリスト、グラクソ・スミスクライン、栗田、
 KDDI、国際興業、コスモスイニシアグループ、コニカミノ
 ルタ、小松製作所、鷺宮、サッポロビール、C&Rグループ、
 シーイーシー、CNCグループ、ジェイアールグループ、
 JNC、資生堂、ジャックス、ジャパントディスプレイ、住友不
 動産販売、全日本空輸、ソニー、第一三共グループ、大正製
 薬、太陽生命、太陽日酸、大和証券グループ、武田薬品、
 TDK、DIC、ディスコ、デンソー、東京海上日動、東京ガ
 ス、東芝、TOTO、トッパングループ、トピー、豊田合成、
 豊田通商、トラスコ中山、トランス・コスモス、ニコン、ニ
 チレイ、日産自動車、日新製糖、日本アイ・ビー・エム、日
 本航空、日本コロムビア、日本事務器、日本製鉄、日本ゼオ
 ン、日本発条、日本ヒューレット・パッカード、日本マクドナ
 ルド、日本郵船、日本旅行、ノバルティス、野村證券、
 パイオニア、博報堂、パナソニック、阪急阪神、BIJ、PHC、
 日立、ファイザー、フジクラ、富士通、富士フイルムグルー
 プ、ブリヂストン、プレス工業、ポーラ・オルビスグループ、
 ボッシュ、丸井、三越伊勢丹、三菱、三菱ケミカル、三菱電
 機、三菱UFJ証券グループ、三菱UFJニコス、明治安田生命、
 山崎製パン、ヤマトグループ、ヤマハ、リクルート、
 レンゴー、ロイヤル、ローソン、ワールド、健康保険組合連
 合会京都連合会
 111会員【2023年3月1日現在】

入会希望する、または質問のある健保様はお気軽に事務局へご連絡ください

〒101-0036 東京都千代田区神田北乗物町 1 1 番地 乗物町第一ビル 4 階
電話 03-5577-5411 F A X 03-5577-5413
e-MAIL hokensha@kino-suishin.org
ホームページ <https://www.kino-suishin.org/>

Copyright (C) 一般社団法人 保険者機能を推進する会 All Rights Reserved. 無断転載禁止